

# 大阪府工業指数2021年4月【速報】

## 毎月の生産・出荷・在庫の推移

### 1 概況

#### (1) 生産指数…108.3 前月比 5.6% 2か月連続の上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、電気・情報通信機械工業、生産用機械工業など7業種が上昇し、その他工業、食料品工業など7業種が低下した。

品目別にみると、無線通信装置(除. 移動通信装置)、医薬品等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、13.5%と2か月連続の上昇となった。

#### (2) 出荷指数…102.8 前月比 5.5% 2か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、電気・情報通信機械工業、生産用機械工業など10業種が上昇し、その他工業、食料品工業など4業種が低下した。

品目別にみると、無線通信装置(除. 移動通信装置)、ショベル系掘削機械等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、8.1%と16か月ぶりの上昇となった。

#### (3) 在庫指数…88.3 前月比▲2.3% 3か月ぶりの低下(季節調整済指数)

業種別にみると、汎用・業務用機械工業、化学工業など10業種が低下し、鉄鋼・非鉄金属工業、プラスチック製品工業など3業種が上昇した。

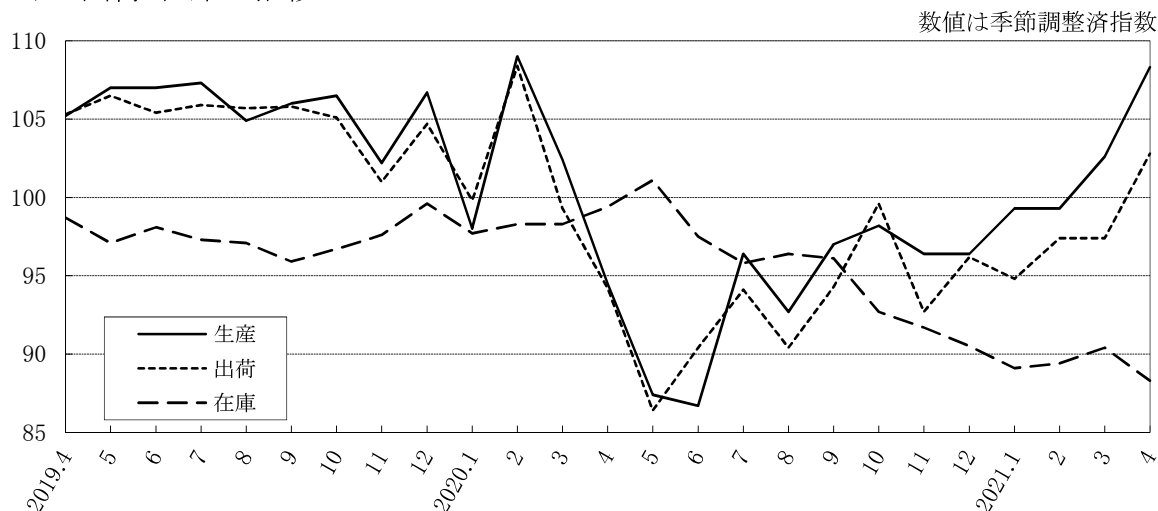
品目別にみると、チリングユニット、エアハンドリングユニット等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、▲11.2%と7か月連続の低下となった。

2015年=100

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前月比(%)		前年同月比(%)
生 産	2021年3月	102.6	3.3	109.7	0.4
	2021年4月	108.3	5.6	108.6	13.5
出 荷	2021年3月	97.4	0.0	107.0	▲ 1.7
	2021年4月	102.8	5.5	102.0	8.1
在 庫	2021年3月	90.4	1.1	87.7	▲ 8.0
	2021年4月	88.3	▲ 2.3	88.1	▲ 11.2

### 生産・出荷・在庫の推移



## 2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産 前月比 5.6% 上昇 7業種  
 低下 7業種  
 横ばい 0業種 計 14業種

区分	業種分類	寄与度	前月比(%)	主な品目
上昇	電気・情報通信機械工業	4.113	25.4	無線通信装置(除. 移動通信装置)、セパレート形エアコン(室外)
	生産用機械工業	0.842	8.1	シヨベル系掘削機械、ベンディングマシン
	汎用・業務用機械工業	0.387	5.8	ポンプ、冷凍・冷蔵ユニット(除. 輸送機械用)
	化学工業	0.350	1.7	医薬品、ポリスチレン
	金属製品工業	0.238	3.0	鉄塔、橋りょう
	輸送機械工業	0.214	4.7	鉄道車両、シャシー・車体部品
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.069	1.0	銅荒引線、亜鉛めっき鋼板
	その他の上昇した品目			
低下	その他工業	X	X	ゴムベルト、木製家具
	食料品工業	▲0.277	▲3.1	ウイスキー、ビール・発泡酒
	窯業・土石製品工業	▲0.189	▲7.8	無アルカリガラス基板、光学用ガラス素地
	プラスチック製品工業	▲0.108	▲2.5	プラスチック製パイプ、プラスチック製機械器具部品
	石油・石炭製品工業	X	X	軽油、ジェット燃料油
	電子部品・デバイス工業	▲0.042	▲1.4	アクティブ型液晶パネル
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.016	▲1.0	段ボール原紙
	その他の低下した品目			

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	無線通信装置(除. 移動通信装置)	電気・情報通信機械工業
	2	医薬品	化学工業
	3	シヨベル系掘削機械	生産用機械工業
	4	セパレート形エアコン(室外)	電気・情報通信機械工業
	5	ポンプ	汎用・業務用機械工業
	6	鉄道車両	輸送機械工業
	7	鉄塔	金属製品工業
	8	工業用計測制御機器	電気・情報通信機械工業
	9	橋りょう	金属製品工業
	10	電気溶接棒	金属製品工業
低下	1	超硬工具	生産用機械工業
	2	産業用アルミニウム製品	金属製品工業
	3	ゴムベルト	その他工業
	4	アーク溶接機	電気・情報通信機械工業
	5	ウイスキー	食料品工業
	6	水門	金属製品工業
	7	汎用内燃機関	汎用・業務用機械工業
	8	乾電池	電気・情報通信機械工業
	9	界面活性剤	化学工業
	10	プラスチック製パイプ	プラスチック製品工業

## (2)出荷

前月比

5.5%

上昇 10 業種  
 低下 4 業種  
 横ばい 0 業種

計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	電気・情報通信機械工業	3.907	39.0	無線通信装置(除. 移動通信装置)、太陽電池モジュール
	生産用機械工業	1.194	12.6	ショベル系掘削機械、装輪式トラクタ
	輸送機械工業	0.947	11.4	鉄道車両、電動アシスト自転車
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.482	3.9	アルミニウムはく、メーカー向け銅裸線
	汎用・業務用機械工業	0.325	5.2	ポンプ、パッケージ形エアコン
	石油・石炭製品工業	X	X	ガソリン、灯油
	金属製品工業	0.234	2.6	鉄塔、橋りょう
	化学工業	0.150	1.1	医薬品、ポリプロピレン
	プラスチック製品工業	0.110	2.7	プラスチック製容器(中空成形)、プラスチック製フィルム・シート
	電子部品・デバイス工業	0.020	3.9	電子回路基板
	その他の上昇した品目			セパレート形エアコン(室外)【電気・情報通信機械工業】、電気溶接棒【金属製品工業】
低下	その他工業	X	X	ゴムベルト、木製家具
	食料品工業	▲0.205	▲2.4	ビール・発泡酒、ウイスキー
	窯業・土石製品工業	▲0.107	▲5.5	無アルカリガラス基板、ファインセラミックス(構造材)
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.067	▲4.5	段ボール原紙
	その他の低下した品目			超硬工具【生産用機械工業】、フェノール【化学工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

## (3)在庫

前月比

▲ 2.3%

上昇 3 業種  
 低下 10 業種  
 横ばい 0 業種

計 13 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	鉄鋼・非鉄金属工業	0.122	0.5	鉄鋼切断品、銅荒引線
	プラスチック製品工業	0.055	1.5	プラスチック製容器(中空成形)、プラスチック製フィルム・シート
	食料品工業	0.009	0.2	チョコレート
		その他の上昇した品目		
低下	汎用・業務用機械工業	▲1.143	▲10.3	チリングユニット、エアハンドリングユニット
	化学工業	▲0.373	▲2.3	アンモニア、界面活性剤
	石油・石炭製品工業	X	X	軽油、重油
	生産用機械工業	▲0.190	▲9.4	ショベル系掘削機械
	その他工業	X	X	繊維板・パーティクルボード、マーキングペン
	窯業・土石製品工業	▲0.116	▲8.2	安全ガラス、光学用ガラス素地
	輸送機械工業	▲0.092	▲6.6	小型乗用車
	金属製品工業	▲0.058	▲0.5	産業用アルミニウム製品、作業工具
	電気・情報通信機械工業	▲0.044	▲0.3	LED器具(除. 自動車用)、電気冷蔵庫
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.042	▲2.4	段ボール原紙
	その他の低下した品目			プラスチック製パイプ【プラスチック製品工業】、鋼半製品【鉄鋼・非鉄金属工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

### 3 業種分類別の推移

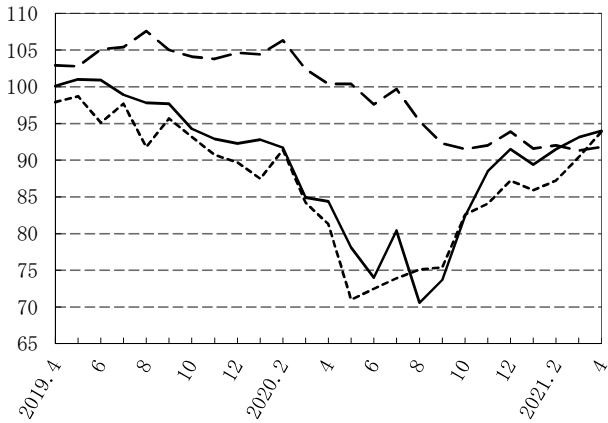
数値は季節調整済指数  
2015年=100

生産 ————  
出荷 .....  
在庫 - - - - -

汎用・業務用機械工業



鉄鋼・非鉄金属工業



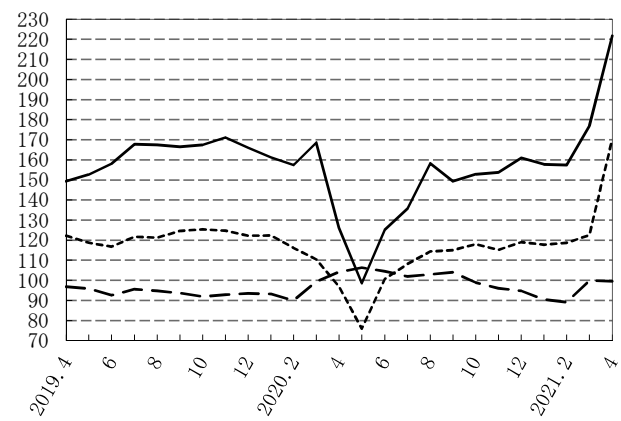
電子部品・デバイス工業



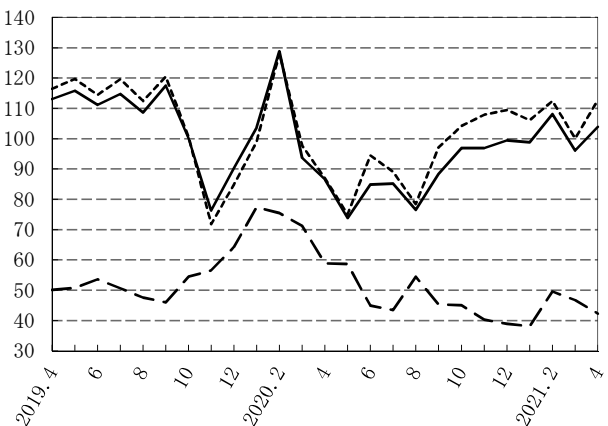
金属製品工業



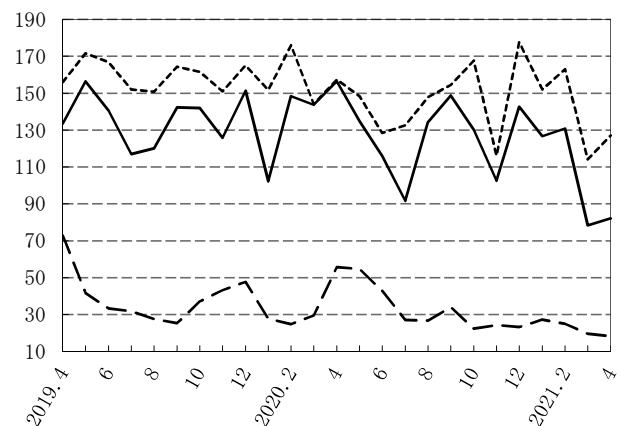
電気・情報通信機械工業



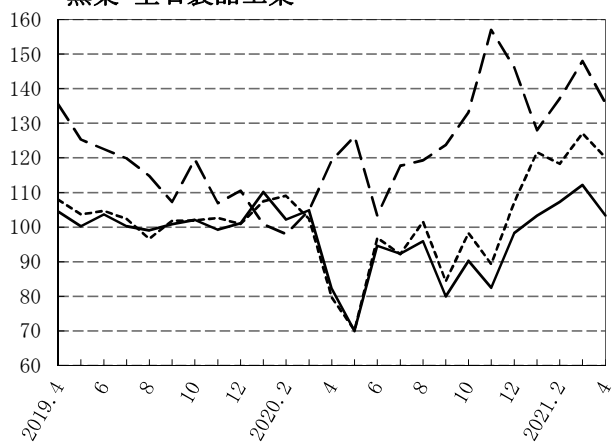
生産用機械工業



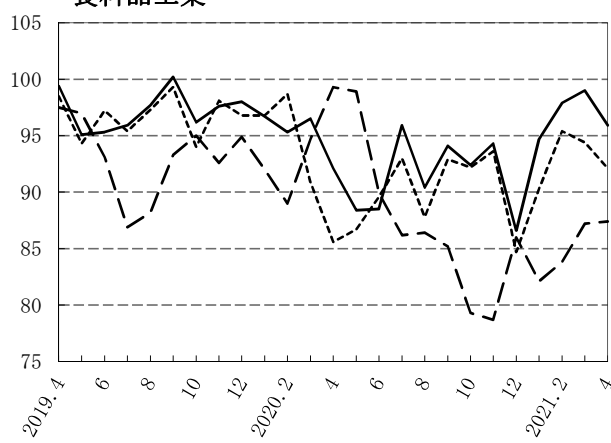
輸送機械工業



窯業・土石製品工業



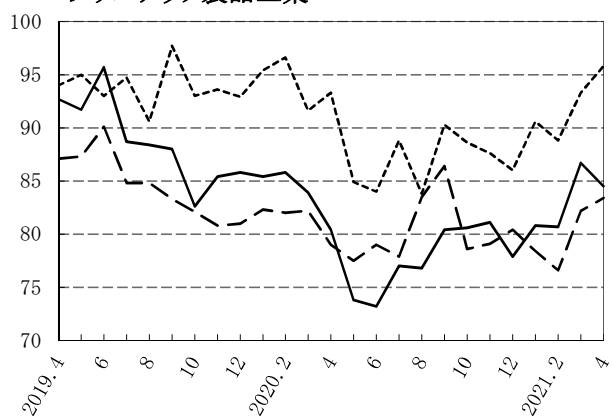
食料品工業



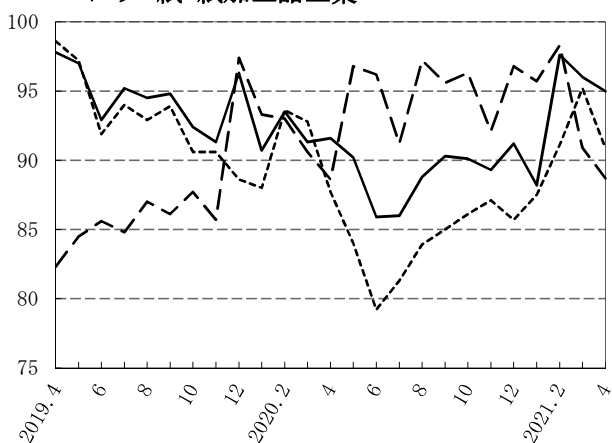
化学工業



プラスチック製品工業



パルプ・紙・紙加工品工業



注:「石油・石炭製品工業」「その他工業」は、秘匿に該当するため、掲載していません。

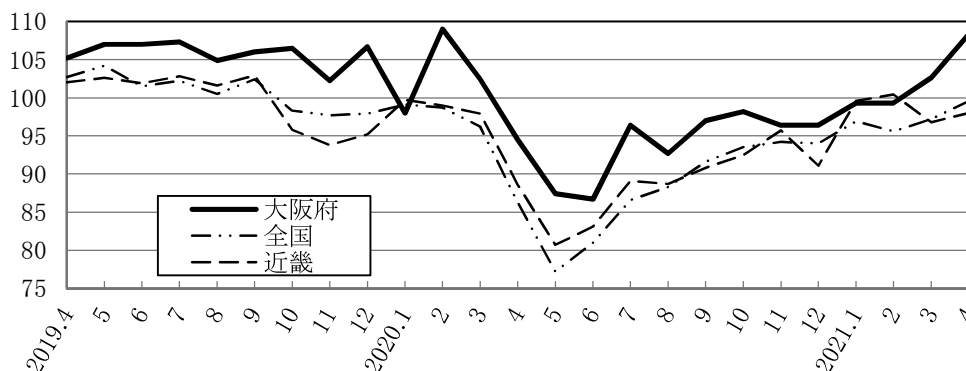
## 4 全国・近畿の状況(速報)

2015年=100

	大阪府		全国		近畿	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生産	108.3	5.6	99.6	2.5	98.0	1.2
出荷	102.8	5.5	97.9	2.6	97.5	2.8
在庫	88.3	▲ 2.3	94.7	▲ 0.1	95.3	▲ 2.4

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの

生産指数の推移



### 1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、2015年(平成27年)です。

2015年(平成27年)基準の指数値は、平成31年1月速報(2019年3月29日公表)から公表しています。

### 2 数値・符号

(1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。

(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。

「▲」…… 負数であることを示す。「X」…… 秘匿に該当することを示す。

### 3 年間補正

毎月の確報値の公表後に月別の実数値(経済産業省生産動態統計調査などの指数値の計算に利用するデータ)が補正されたため、2019年の年間補正を行いました。

補正後の指数値は、2020年6月速報(2020年8月31日公表)から公表しています。

2020年1月以降の指数値についても、2020年の年間補正により変更される場合があります。

### 4 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など1年間でほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数といいます。

前年同月比や年単位の動向をみる場合には原指数、前月比や足下の動向をみる場合には季節調整済指数を利用します。

### 5 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{今月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$$

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。

大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/iip/>

▼本資料についての問合せは下記へお願いします。

大阪府総務部統計課 情報企画グループ 工業指数担当 TEL:06(6210)9195(直通)